

事務局記入	2025D
受付日	YYYY/MM/DD
No.	0

公益財団法人ベネッセこども基金

2025年度重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成 申請書

こちらのチェックシートを必ず確認の上、ご提出ください

「提出前チェック」欄を下記のように選択して、黄、赤網がなくなっている状態にしてご提出ください。

記入シート	記入内容	クリックして選択 (黄色アミがなくなっているか確認)
【1】 貴団体について	貴団体の情報について記入してください	記入済み
【2】 本助成での活動計画	本時世での活動計画について、課題意識、実行項目、実行に際しての貴団体の強み弱みについてご記入ください	記入済み
【3】 活動計画詳細①	【2】で記入した各実行項目の詳細をご記入ください	記入済み
【3】 活動計画詳細②	【2】で記入した各実行項目の詳細をご記入ください。 実行項目が複数ない場合は記入の必要はありません。	記入済み
【3】 活動計画詳細③	【2】で記入した各実行項目の詳細をご記入ください。 実行項目が複数ない場合は記入の必要はありません。	該当なし
【4】 予算まとめ	【3】で記入した予算が反映されています。確認の上、必要事項を追記してください。	確認済み
【任意】 アンケート	アンケートへのご協力をお願いします。 ※選考には影響しません。	回答済み
【継続団体のみ】 状況確認シート	24年度に本助成を受けて活動している団体をご記入ください。	該当なし

提出物一覧	確認事項	提出前チェック クリックして選択 (黄色アミがなくなっているか確認)	※「そのほか理由により提出なし」をご選択された方は、下記へ理由をご記入下さい。 (赤色アミがなくなっているか確認)
申請書 (当該シート)	必要事項の記入漏れはありませんか？ 提出前チェックの欄の黄アミはなくなっていますか セル内に入力した文字はすべて表示されていますか ※印刷プレビューでの確認を推奨 ※Excel形式での提出にご協力ください。	添付済み	
本年度事業計画書	本年度の貴団体の事業計画書など、 現在までの団体活動実績が分かるものは添付していますか。 ※PDF形式での提出にご協力ください。	添付済み	
本年度収支予算書	本年度の貴団体の収支予算書は添付していますか。 ※PDF形式での提出にご協力ください。	添付済み	
会計報告	直近年度で貴団体作成のものは添付していますか？ ※直近年度とは、3月末決算の団体の場合 2023年4月1日～2024年3月31日のものにあたります。 ※PDF形式での提出にご協力ください。	添付済み	

事務局記入	2025D
受付日	YYYY/MM/DD
No.	0

【1】貴団体について

※青いセルは入力できません。

1	団体名（代表名）	団体種別／法人格	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p>赤文字：記入内容の説明</p> <p>青文字： 記入見本</p> </div>
		※その他の場合は、必ずご記入下さい。	
		団体名称	
		よみかた	
		代表者名 ※姓と名の間にも全角スペースを入れてください。	
		よみかた	
		役職	
2	代表者略歴 600文字以内	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>職歴や申請団体との関係、他団体等での兼職する役職や受賞歴、著書などを記入</p> </div>	
3	団体住所・連絡先	郵便番号	
		都道府県名	
		市区町村・丁目番地	
		建物名など	
		代表電話番号	
		代表e-mail	
		団体サイト（URL）	
		団体Facebook（URL）	
その他団体SNSなど			
4	担当者／連絡先	担当者名	
		よみかた	
		担当者名電話番号	
		担当者e-mail	
※団体と異なる住所が必要な場合のみ記載	郵便番号		
	担当者住所		

事務局記入	2025D
受付日	YYYY/MM/DD
No.	0

【1】貴団体について

※青いセルは入力できません。

5	団体情報	職員数	常勤 人 非常勤 人
		ボランティア数	有償 人 無償 人
		昨年度収入計（円）	直近の会計年度で実績の確定した数値を記入
		体制・組織図 ※別添の場合は、メールにて送付をお願い致します。	
6	団体沿革 ※設立のきっかけや現在に至る経緯など		<ul style="list-style-type: none"> ●●年～：●●市にて病気療養中の小学生の学習支援と復学支援を開始 ●●年～：対象を中学生に広げる。ICTを使った遠隔地での学習支援開始 ●●年～：ICTを使って病室と前籍校とをつなぐ支援 ●●年～：院内学級のない高校生向け学習支援のトライアル開始 <p>申請事業以前に行っていた事業内容を経年で記入</p>
7	団体のビジョン・ミッション	<p><ビジョン> すべての子どもたちが、自ら可能性を広げられる社会を作る</p> <p><ミッション> 私たちは.....</p>	
	団体が目指していること 中長期ビジョン ※特に助成終了後の事業継続見通し	<p>義務教育後の学びを継続することができる体制（人材とネットワーク）を県内で確立し、行政と連携しながら制度化する。また全国の制度変更につなげる。</p> <p>*****</p>	

事務局記入	2025D
受付日	YYYY/MM/DD
No.	0

【2】本助成での活動計画 ※青いセルは入力できません。

1	対象	地域	
		年齢（学齢）	
2	本助成で取り組む課題	課題意識 ※支援対象者の現状などを記載	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>これまでの活動や成果をふまえ、本助成で解決したい課題を記入。その中で支援する対象の状況や課題をご説明ください。（できるだけ数字などの根拠もお示しください）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで〇年間、●●市にて病気療養中の小中学生の学習支援を続けてきた。 ・義務教育のうち院内学級が設置されている病院もあるが、高校生段階になると院内学級などの制度は整っておらず、文科省の調査によると長期入院中の高校生の約〇%しか学習を継続できていないことがわかっている。 ・一方で、高校は出席や単位取得のルールが厳格で、長期入院中であっても継続的な学習が必要になる。病室や自宅でも学習できる環境がないと、進級や卒業を諦めざるを得ない。実際、弊団体の卒業生に実施したヒアリング調査でも、●件中●人の子どもに進級や進学を諦めたケースが見受けられた。 ・院内学級に通えない子どもたちの中で、弊団体と接点があった子どもたちには学習支援を行えているが、市内や県内の実態は把握しきれていない。 ・高校生の学びの機会保障のためには、I C Tを活用した遠隔授業の推進が有効だと考えられるが、学校と病院との連絡調整などを担うコーディネーター人材や具体的な実施ケースが少なく、実現へのハードルが高い。 ・進級や進学を諦めざるを得ない高校生たちは、将来への不安や焦りから治療や学習にも悪影響を及ぼしている。他方、学習が継続できると治療にもよい影響があるとの調査結果も出ている。高校生世代の進級・進学へのサポート、またキャリア形成へのサポートの重要性について社会的認知を高め、全国的な制度変更につなげていく必要がある。
		解決の方向性	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>上記の課題を解決するための取り組みの方向性を記入。 ※4. で記入いただく「実行項目」もふまえてご記入ください。</p> </div> <p><解決の方向性> 上記の課題を解決するために、長期的には全国的な制度変更につなげていきたいが、まずは県内の高校生たちが置かれている実態調査が必要になる。学校・病院の状況を把握し、どのような課題や解決の手立てがあるかを多角的に調査し検討する。また、実態調査を受けて、状況を改善するための解決モデルの検証を行う。そして、その取り組みの成果を広く発信し、短期的には寄付・ボランティアなどの継続的な支援者を増やし、長期的には、行例と連携して社会の仕組み化を目指したい。 よってまずは、2023年度は以下の3つに取り組むこととする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ●●県内の病気を抱える高校生世代の学びの実態調査 ② 高校生世代の継続的な学習支援モデルづくりと検証 ③ シンポジウムにて課題の認知拡大と取り組みの成果の発信 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>上記の活動により期待される効果や目標について、教えてください。 （できるだけ規模感などがわかるようにご記入ください）</p> </div> <p><期待される成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・●●県内の高校生・学校・病院の調査を通して本質的な課題が把握できる。 ・高校生世代の継続的な学習支援モデルとその有効性がわかる。 ・シンポジウムには行政や地域の方も巻き込み、課題の可視化と今後の支援者間でのネットワーク連携につなげる。
3	申請事業名		入院中・在宅療養中の高校生世代の継続的な学習支援モデルづくりと検証事業
4	実行項目	①	病気を抱える高校生世代の学びに関する実態調査の実施
		②	病院・在籍校をつなぐ高校生への継続的な学習支援モデルづくりと検証事業
		③	〇〇シンポジウムにて、①および②の実施報告

課題をふまえた申請事業の取り組み名称を記入

事務局記入	2025D
受付日	YYYY/MM/DD
No.	0

【3】活用計画詳細① ※青いセルは入力できません。

1	事業名	入院中・在宅療養中の高校生世代の継続的な学習支援モデルづくりと検証事業	
2	実行項目名	病気を抱える高校生世代の学びに関する実態調査の実施	
3	対象	地域	●●県内（主に●●市および●●地域）
		年齢（学齢）や人数	高校生 約●人
4	施策の内容 ※規模・回数・連携先などもわかるように記載	●●県内の高等学校、特別支援校高等部、○○箇所 ●●県内の総合病院（院内学級）○箇所 ●●県内の長期入院中、在宅療養中の高校生○人 に対して、高校・病院・高校生の学習継続に関するニーズ調査を郵送アンケートにて行う。必要に応じて電話ヒアリングなども追加で行う。有識者と事前検討のうえ、調査票を作成する。配布回収後、有識者と共に分析、解決策を検討する。 *****	
5	達成目標 ※定性目標（成果・成果物など） ※定量目標（数値・指標など）	<定性目標> 病気を抱える高校生の学びの実態とニーズ、関係各所の現状や問題点、課題解決にむけてのボトルネックが明らかになる。重点実行項目②の対象者、実践方法を決定する。 <定数目標> アンケート調査回収率60%（回答者数●名以上）	
6	スケジュール	4月	調査企画立案
		5月	調査票配布・回収
		6月	集計。必要に応じて電話ヒアリングなども行う
		7月	課題分析と解決策検討を有識者と共に行う
		8月	
		9月
		10月
		11月
		12月
		1月
		2月
		3月

事務局記入	2025D
受付日	YYYY/MM/DD
No.	0

【3】活用計画詳細① ※青いセルは入力できません。

		項目	内訳/算定根拠	費用計 (自動計算)	本助成 申請金額 (円)	他の財源 (円)
7	予算	会場賃借料		0	0	0
		制作費		0	0	0
		印刷費	アンケート調査票印刷 (A4用紙5ページ) 単価**円 × ***部 アンケート送付要封筒印刷 (角2封筒) 単価**円 × ***部 アンケート返信用封筒印刷 (長3封筒) 単価**円 × ***部	20,000	20,000	0
		広告宣伝費		0	0	0
		人件費		0	0	0
		謝礼	本事業推進スタッフ人件費 ***円/時×○時間×◇か月	50,000	30,000	20,000
		旅費交通費	有識者協力謝礼金****円×2名×2回	40,000	40,000	0
		運賃通信費	打合せ駐車場代***×4名×2回	8,000	8,000	0
		会議費	アンケート調査票発送 (***円×***部) ****円	5,000	5,000	0
		図書新聞費	会議用お茶、茶菓子1000円×2名×2回	4,000	4,000	0
		消耗品		0	0	0
		備品		0	0	0
		委託費		0	0	0
		その他		0	0	0
		合計		127,000	107,000	20,000

事務局記入	2025D
受付日	YYYY/MM/DD
No.	0

【3】活用計画詳細② ※青いセルは入力できません。

1	事業名	入院中・在宅療養中の高校生世代の継続的な学習支援モデルづくりと検証事業	
2	実行項目名	病院・在籍校をつなぐ高校生への継続的な学習支援モデルづくりと検証事業	
3	対象	地域	●●県内（主に●●市および●●地域）
		年齢（学齢）や人数	高校生 約●人（①の結果で決定）
4	施策の内容 ※規模・回数・連携先などもわかるように記載	<p>①の結果を受けて、入院中・在宅療養中で、オンラインによる遠隔授業で高校に在籍したまま学習を継続したい意向があるが、難しい状況にある高校生○名に対して、次のステップで遠隔での学習支援を行う。</p> <p>①実施基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、病院、高校生・保護者との実施への打合せ（高校生の学びの実態に応じた学習プラン立案） ・ICT環境整備：タブレットWi-Fiルーター等の貸与 ・コーディネーターの配置：専任2名 <p>②遠隔での学習支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2か月ごとに進捗や課題、成果を確認した結果を関連各所にメールで連携 <p>*****</p> <p>*****</p>	
5	達成目標 ※定性目標（成果・成果物など） ※定量目標（数値・指標など）	<p><定性目標></p> <p>生徒が高校に在籍したまま、学習が継続できる体制のモデルケースをつくる。</p> <p>設定や通信環境でうまく実施できなかったケースの事例をリストアップし、予防策や解決策について関連各所と相談する体制ができる。</p> <p><定量目標></p> <p>高校生●名に対して、のべ●回の遠隔学習支援を実施する。</p>	
6	スケジュール	4月	
		5月	
		6月	
		7月	実施基盤の整備
		8月	学習支援の実施
		9月
		10月
		11月
		12月
		1月
		2月
		3月	

事務局記入	2025D
受付日	YYYY/MM/DD
No.	0

【3】活用計画詳細② ※青いセルは入力できません。

		項目	内訳/算定根拠	費用計 (自動計算)	本助成 申請金額 (円)	他の財源 (円)
7	予算	会場賃借料		0	0	0
		制作費		0	0	0
		印刷費		0	0	0
		広告宣伝費		0	0	0
		人件費	コーディネーター (1人×70,000円×6ヶ月=420,000円) 教科指導者 (3人×2時間×1,200円×8回×6ヶ月=345,600円)	765,600	345,600	420,000
		謝礼		0	0	0
		旅費交通費	コーディネーター交通費 2000円/回×6回×2名	24,000	24,000	0
		運賃通信費		0	0	0
		会議費		0	0	0
		図書新聞費	学習支援のための動画コンテンツ及びe-ラーニング教材使用料	10,000	10,000	0
		消耗品		0	0	0
		備品		0	0	0
		委託費		0	0	0
		その他		0	0	0
		合計		799,600	379,600	420,000

事務局記入	2025D
受付日	YYYY/MM/DD
No.	0

【3】活用計画詳細③ ※青いセルは入力できません。

1	事業名	入院中・在宅療養中の高校生世代の継続的な学習支援モデルづくりと検証事業	
2	実行項目名	〇〇シンポジウムにて、①および②の実施報告	
3	対象	地域	全国（オンライン）
		年齢（学齢）や人数	全国の医療・教育の支援団体、行政担当者、教員など。目標300名
4	施策の内容 ※規模・回数・連携先などもわかるように記載	<p>■会場：オンラインZOOM もしくはYouTube 開催</p> <p>■内容：調査とモデル実施をもとに課題の共有や、学習支援事例共有。生徒への配慮点、学習支援のポイントなど。</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p>*****</p>	
5	達成目標 ※定性目標（成果・成果物など） ※定量目標（数値・指標など）	<p><定性目標></p> <p>*****</p> <p><定数目標></p> <p>*****</p>	
6	スケジュール	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
		10月	
		11月
		12月
		1月
		2月
		3月

事務局記入	2025D
受付日	YYYY/MM/DD
No.	0

【3】活用計画詳細③ ※青いセルは入力できません。

		項目	内訳/算定根拠	費用計 (自動計算)	本助成 申請金額 (円)	他の財源 (円)
7	予算	会場賃借料	ライブ配信用機材レンタル (スイッチャー、モニターなど)	30,000	30,000	0
		制作費		0	0	0
		印刷費	広報チラシ3,000枚 ****円 郵送用封筒 2000枚 ****円	50,000	50,000	0
		広告宣伝費		0	0	0
		人件費		0	0	0
		謝礼	イベント司会者 ***円/時×4時間=****円 イベント配信担当 ***円/時×5時間=****円	80,000	80,000	0
		旅費交通費	当日アルバイト交通費	40,000	40,000	0
		運賃通信費	打合せ駐車場代 ***×4名×2回	8,000	8,000	0
		会議費		0	0	0
		図書新聞費	会議用お茶、茶菓子1000円×2名×2回	4,000	4,000	0
		消耗品		0	0	0
		備品		0	0	0
		委託費		0	0	0
		その他		0	0	0
			合計			212,000

事務局記入	2025D
受付日	YYYY/MM/DD
No.	0

【4】予算まとめ ※青いセルは入力できません。

事業名		入院中・在宅療養中の高校生世代の継続的な学習支援モデルづくりと検証事業			
予算	項目	内訳/算定根拠	費用計 (自動計算)	本助成 申請金額 (円)	他の財源 (円)
	会場賃借料	内訳は重点実行項目の欄を参照	30,000	30,000	0
	制作費		0	0	0
	印刷費		70,000	70,000	0
	広告宣伝費		0	0	0
	人件費		765,600	345,600	420,000
	謝礼		130,000	110,000	20,000
	旅費交通費		104,000	104,000	0
	運賃通信費		16,000	16,000	0
	会議費		5,000	5,000	0
	図書新聞費		18,000	18,000	0
	消耗品		0	0	0
	備品		0	0	0
	委託費		0	0	0
	その他		0	0	0
	合計		1,138,600	698,600	440,000

助成割合	61%
------	-----

他の財源の内訳	内訳	金額 (円)
行政の補助金	●●●助成	420,000
本助成以外の助成金		0
寄付・会費		10,000
その他の財源		10,000